

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

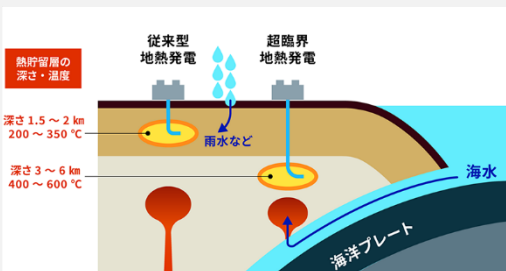
VOL.118 (2026.1.27)

令和7年度スローガン
新たなステージへの挑戦
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

社員の皆さん、あけましておめでとうございます。昨年も様々な出来事がありましたが、皆さんのおかげで無事に一年を終えることができました。心より感謝申し上げます。特に採用面では新卒採用は今春も含めて2年間できておりませんが、4月の経営方針発表会で皆さんにお願いした「リファラル採用」で8名の方に入社頂くことができました。自社の従業員が友人や知人など信頼できる人を紹介し、その人の紹介を通じて採用につなげる手法の「リファラル（referral）」とは「紹介・推薦」を意味しており、既存社員の推薦によって、企業文化にマッチしやすく定着率の高い人材を効率的に採用できるため、人材不足が深刻化する日本では多くの企業が導入しております。会社の概要・文化・仕事内容・企業風土を皆さんが知人に事前にお話して頂くことで、入社後スムーズに馴染んでもらえ、ミスマッチを最小限にできるのが大きなメリットです。今年も皆様からの情報をお待ちしております。

湯沢市をとりまくホットな話題としては、今年秋には駅前複合施設「ゆいなす」が完成します。一月に入り本格的な降雪期となりましたが、現場に従事される皆様には除雪作業等においても十分な安全対策を講じて頂きますようお願い致します。湯沢駅前に賑わいを創出し、新たな文化・情報の発信場所として、地元はもとより地域外からも多くの皆様に愛される施設になるよう、コンソーシアムメンバーが一致協力して努力して参ります。



また昨年10月には日本で初めて経済産業省およびJOGMEC（独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構）から「地熱フロンティアプロジェクト」の候補地に湯沢市が選定されました。これは国及びJOGMECが地熱資源の調査を行い開発リスクも負担するもので、上の岱、山葵沢、かたつむり山、木地山に続く新たな地熱発電所の建設が期待されます。さらには将来的に日本初の次世代型地熱発電と言われる「超臨界地熱発電」の実現に繋がるものと

個人的に期待しております。

地熱発電の最大のメリットは安定性であり、太陽光や風力と異なり天候や昼夜に関わらず安定的に発電可能な点にあります。つまり原子力と同様に常に一定の電力を供給できる「ベースロード電源」として期待されており、CO2排出量が非常に少なく、地球温暖化対策に有効、化石燃料に頼らず、持続可能な国産エネルギー、エネルギー自給率向上に繋がります。

初丑

12/22 初丑水神社参拝の後、湯沢ロイヤルホテルで直会が開催されました。残念ながら私は流行り病の為参加できませんでしたが、110名のご来賓及び従業員に



参加頂きました。私の発案で年齢ごとの座席配置にしましたが、好評でしたので今後も継続したいと思います。



湯沢商工会議所新年祝賀会



をして頂くことができ、ご出席頂いたこと大変感謝しております。また急遽 Orbray の並木社長



1月9日湯沢グランドホテルにて開催されました。鈴木健太知事も来賓として出席頂き、当地の様々な関係者と意見交換



にもご参加頂くことができ、毎週親子でジュネスに通っているの言葉に村人二名は感激しておりました。

雄勝建設業協会安全祈願祭



1/14 ゆざわ温泉にて令和8年度の祈願祭が執り行われました。神事のあと労働基準監督署から県内の労働災害の状況や、今年度及び令和8年度からの法改正について講話がありました。